

令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	2	教科書	精選現代文B (東京書籍)		
副教材等	精選現代文B 学習課題ノート (東京書籍)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てます。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとおこなしましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	評論1 文学の未来 言語と記号	・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文脈に即して的確に読み取ります。 ・抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深めます。 ・発問への応答、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
	小説1 檸檬	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解します。 ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を養います。 ・感想文、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
1 学期 末	評論2 環境問題と孤立した個人	・近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考えます。現代社会における環境問題の改善について、話し合い活動を通して、自分の考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、発問への応答、ノート、定期考査	○	—	◎	—	○
	随想 クレールという女	・随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して的確に読み取ります。筆者の人生観を反映した「人間のしるし」の意味の捉え直しについて、複数の視点から考えを深めます。 ・ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 中間	評論3 社会の崩れる時—知性的であるとはどういうことか—	・叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解します。筆者の主張を、過去のこととしてではなく、現在の社会と接続しながら把握します。 ・発問への応答、ノート、定期考査	○	—	◎	○	○
	小説2 舞姫	・文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わいます。「良友」「一点の彼を憎むころ」について、話し合い活動を通して複数の視点から、考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、発問への応答、ノート、定期考査	○	—	◎	○	○
2 学期 末	評論4 他者の声 実在の声	・筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げます。筆者が「他者性の問題」「実在性の問題」について、どのように考えているかを理解し、筆者の主張の要点を文章にまとめます。 ・要点のまとめ、発問への応答、ノート、定期考査	○	◎	—	—	○
	小説3 トランジエツト	・現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を的確に捉えます。祖父の左腕に書かれた数字について、幼い「わたし」の理解と、後で知った事実との違いを押さえます。「深い暗闇」が暗示するものを考えます。 ・感想文、ノート、定期考査	○	—	◎	○	○
学 年 末	評論5 抗争する人間	・社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握します。筆者が考える「虚栄心」について、理解します。 ・筆者の主張を踏まえ、他者とどのような関係を築いていくことが望ましいかについての話し合い活動を通して、自分の考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、ノート	○	◎	—	—	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、口頭発表、プレゼンテーション	10
③ 書く能力	レポート(感想文)、課題プリント、定期考査	30
④ 読む能力	ノート、定期考査	20
⑤ 知識・理解	課題プリント、ノート、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	国 語	科目	古典B	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 古典B (第一学習社)		
副教材等	高等学校 改訂版 古典B 学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。 2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。
学習の方法	・予習では、ノートに本文を写し、古語辞典や文法書を用いて、文法や口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。 ・授業中は、口語訳や文法の確認を中心に行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。 ・復習では、学習課題集を解いて、学習した内容を定着させましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	古文 説話 発心集・今物語	・筆者が主張している内容について整理します。 ・「心を仏道に任せ」た生き方について考えます。 ・登場人物の心情を、表現に即して考えます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 逸話 説苑・列子	・登場人物の心情を理解します。 ・漢文に頻出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
1 学期 末	古文 随筆 枕草子	・本文中に現れた作者の心情や考え方を理解します。 ・文中の助動詞の意味・用法について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 古代の史話 戦国策	・春秋・戦国時代と政治論、軍事論の関係を理解します。 ・内容を読解し、論理展開を理解します。 ・行動の観察、ノート、レポート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 中間	古文 物語(一)・日記 源氏物語・和泉式部日記	・登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 ・文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 ・主人公の生き方を通じて人の世のあり方や運命に抗う姿を味読し、物語文学を深く理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 史記の群像	・句法や頻出の語彙に注意しながら現代語訳します。 ・登場人物の人物について考察します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 末	古文 評論(一) 俊頼髓脳・無名草子	・歌論や和歌の技巧についての基本的な知識を確認します。 ・公任の和歌の評価基準を考えます。 ・一文の長い文体を読み味わい、読解力を身に付けます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 明代の文章	・句法に注意しながら書き下し文・現代語訳を整理します。 ・人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
学 年 末	古文 物語(二)・近世 の小説 大鏡・雨月物語	・語り手の人物を評価する視点や判断規準がどのようなどころにあるかを考えます。 ・本文全体を通して、人間の自然の心の動きを読み取ります。 ・本文中の敬語について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト	○	—	—	◎	○
	漢文 三国志の世界	・登場人物の関係性と、心情を理解します。 ・発言の意図や、詩の内容を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト	○	—	—	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、発表、プレゼンテーション	20
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表	—
③ 書く能力	課題プリント、定期考査	—
④ 読む能力	課題プリント、レポート、定期考査	40
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理B	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	4	教科書	新詳地理B (帝国書院)、新詳高等地図 (帝国書院)		
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE 2022 (帝国書院)、地理ワークブック2022(愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門)、地理統計要覧2023年版(二宮書店)				

学習の目標	世界各地の特徴を理解するために、自然的項目と社会・文化的項目の両面から追究する地誌的方法を用いて学習します。また、現代世界の抱える課題を地球的規模で正しく認識し、その解決の糸口を考えていきます。
学習の方法	地図帳や作業地図・白地図などを活用して、自然環境や資源、産業など様々な地理的事象を空間的な広がりの中で捉えていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段から様々な問題に興味・関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題	・世界の人口、人口問題、村落と都市、都市・居住問題を大観して、発展途上国、先進国、日本の事例で考察し、問題の解決に必要なものは何かを考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	—
	4章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題	・衣食住、民族と言語、世界の宗教、国境と領域、国家の分類、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
1 学期 末	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 1節 地誌の考察方法	・特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察したり、対照的又は類似的な性格の2つの地域を比較して考察したりする方法を身に付けます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	○	◎
	2節 東アジア 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア	・アジアの自然、農業、工業、文化・民族などの多様な事象を項目ごとに整理して、地域の特徴を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	—
2 学期 中間	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア	・アフリカ、ヨーロッパ、ロシアの自然、農業、工業、文化・民族などの多様な事象を項目ごとに整理して、地域の特徴を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	—
	9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア	・南・北アメリカ、オセアニアの自然、農業、工業、文化・民族などの多様な事象を項目ごとに整理して、地域の特徴を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	—
2 学期 末	3章 現代世界と日本	・日本の特色について、多面的・多角的に考え、日本が抱える地理的な諸課題を探究し、その解決の方向性や将来の国土の在り方などについて考えを深めます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	—
	問題演習	・問題を繰り返し解きます。 ・学習プリント、小テスト	○	◎	○	○
3 学期	問題演習	・問題を繰り返し解きます。 ・学習プリント、小テスト	○	◎	○	○

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント、作業プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	理 数	科目	理数数学Ⅱ・理数数学特論	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	7	教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅲ(数研出版)		
副教材等	改訂版 サクシード数学Ⅲ(数研出版)、増補改訂版 チャート式 解法と演習 数学Ⅲ(数研出版)、実戦 数学重要問題集—数学ⅠⅡⅢAB(理系)(数研出版)				

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間との関わりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と並行して、教科書傍用問題集「サクシード」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第3章 関数 第4章 極限 第1節 数列の極限	<ul style="list-style-type: none"> ・関数・極限・数列の極限について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	第2節 関数の極限 第5章 微分法 第1節 導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の極限・式と曲線、2次曲線について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	第2節 いろいろな関数の導関数 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> ・媒介変数表示と極座標、微分法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
1 学期 末	第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用	<ul style="list-style-type: none"> ・微分法・積分法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分	<ul style="list-style-type: none"> ・積分法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
2 学期 中間	第2節 定積分 第3節 積分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・積分法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	第1章 複素数平面 第1節 極形式	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	第2節 複素数と図形 総合演習問題①	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面について学習します。 ・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	-	○	◎
3 学期	総合演習問題②	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト 	○	-	○	◎
	総合演習問題③	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト 	○	-	○	◎
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、自発的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート 				

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	取組状況観察、振り返り、発表、課題プリント、ノート	10
② 数学的な見方や考え方	取組状況観察、発表、ノート、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	板書の整理状況、ノート、小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	定期考査、小テスト、課題プリント	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	理 数	科目	理数物理	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	4	教科書	改訂版 物理基礎（数研出版）	改訂版 物理（数研出版）	
副教材等	物理基礎・物理実験ノート（高教研理科部会）		セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）		

学習の目標	1 物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験を行い、物理学的に探究する能力と態度を養います。 3 物理学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成します。
学習の方法	・身近な物理現象を話題に取り上げたり、観察、実験などの体験的な活動を行ったりしながら、物理学における基本的な概念や原理・法則が、実感を伴って理解できるように授業を進めます。 ・知的好奇心と、知識・理解を活用しながら探究する姿勢を維持し、演習問題に取り組みましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第3編 波 第2章 音の伝わり方	・音の伝わり方、特に、ドップラー効果について、原理を詳しく学習します。 ・課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	○	○	◎	—
	第3章 光	・光の性質、レンズ、光の干渉と回折についての実験を行い、そのデータをもとに、基本的な概念や原理・法則を学習します。 ・課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	○	○	◎	—
1 学期 末	第4編 電気と磁気 第1章 電場	・電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則を系統的に理解するとともに、静電気のはたらきについて定性的・定量的に検討を加え、静電気に関する理解を深めます。 ・課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	○	◎	—	○
	第2章 電流	・電流によって運ばれたエネルギーを、光や音、熱、動力に変換する技術の基礎になる、電流のはたらきについて学習します。 ・課題、発表、行動の観察、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 中間	第3章 電流と磁場	・電流がつくる磁界、電磁力について学習します。 ・課題、発表、行動の観察、定期考査	○	○	—	◎
	第4章 電磁誘導と電磁波	・電磁誘導に関する実験などを行い、磁束の変化と誘導起電力の向きや大きさとの関係を理解するとともに、交流の発生や電磁波の性質について学習します。 ・課題、発表、行動の観察、定期考査	○	○	—	◎
2 学期 末	第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核	・電子、原子及び原子核に関する現象を観察、実験などを通して探究し、原子についての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、電子の電荷と質量、電子や光が粒子性と波動性の両方の性質をもつことを学習します。 ・原子の構造、原子核の構成等について学習します。 ・課題、発表、行動の観察、定期考査	○	◎	○	—
	物理学が築く未来	・物理学の発展と成果が科学技術の基盤をつくり、それらが様々な分野において応用され、未来の社会形成、未知の世界の探究に大きな役割を果たしていることなどを学習します。 ・課題、発表、行動の観察	○	◎	—	○
3 学期	問題演習	・大学入学共通テスト及び国公立大学二次試験対策を行います。 ・課題	○	◎	—	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト	20
② 思考・判断・表現	課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	20
③ 技能	課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	理科	科目	理数化学	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	4	教科書	化学 新訂版 (実教出版)		
副教材等	化学基礎・化学実験ノート (高教研理科部会化学部門)、サイエンスビュー化学総合資料四訂版 (実教出版)				

学習の目標	1 身近な生活に関係深い有機化合物に対する興味と理解を深め、探究する態度と能力を身に付けます。 2 合成高分子化合物や天然高分子の種類や分子構造・合成方法を学び、その性質や特性を知ります。 3 実験や観察を通して、化学的な自然観を身に付けます。
学習の方法	・身近な生活に使われている有機化合物や合成高分子について、理論と実験結果を関連付けながら考察してください。 ・発展的な問題に取り組めるよう、既習の学習内容を定着させ、応用できるように工夫してください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 物質の状態 第4章 溶液	・物質が水に溶解するしくみを理解し、薄い溶液の性質を学習します。また、生物体などのほか、身近なところに数多く存在するコロイド溶液についても、身近な現象と結びつけながら学習します。 ・課題プリント、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、定期考査、小テスト	○	○	—	◎
	第2編 物質の変化 第3章 化学反応の速さ	・化学反応について、その反応の速さの違いや、化学平衡の状態について、反応のしくみとあわせて学習します。 ・課題プリント、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、定期考査、小テスト	○	○	○	◎
1 学期 末	第4章 化学平衡	・可逆反応における平衡状態は平衡定数で表されることを学習します。また、化学平衡は濃度・圧力・温度で移動することを実験により学習します。 ・課題プリント、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、定期考査、小テスト	○	○	○	◎
	第5編 天然有機化合物 第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物	・生体を構成する有機化合物にはどのようなものがあるのか学び、その性質について理解します。 ・生体を構成する高分子化合物にはどのようなものがあるのかを学びます。 ・課題プリント、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、定期考査、小テスト	○	○	—	◎
2 学期 中間	第6編 合成高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 合成高分子化合物	・合成高分子化合物について、分類と構造を学びます。また、特質である熱可塑性、熱硬化性についても学びます。 ・合成繊維と合成樹脂について、材料の組成や構造がその特性とどのように関連しているのかを理解します。 ・課題プリント、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、定期考査、小テスト	○	○	○	◎
2 学期 末	問題演習	・化学についての法則や知識が暗記的にならないよう、化学的に推論し、理解する力を身に付けます。 ・課題プリント、定期考査	○	○	—	◎
3 学期	問題演習	・化学についての法則や知識が暗記的にならないよう、化学的に推論し、理解する力を身に付けます。 ・課題プリント	○	○	—	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	発表、小テスト、定期考査、実験ノート	20
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート	20
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	理科	科目	理数生物	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	4	教科書	改訂版 生物 (数研出版)		
副教材等	セミナー生物 (第一学習者)・生物基礎実験ノート・問題集 (愛媛県高等学校教育研究会 理科部会編)				

学習の目標	1 実験・観察を通して、生物におけるさまざまな生命現象の共通性と多様性を理解します。 2 実験・観察を通して実験方法や観察方法、考察の仕方などの技術を習得し、自らが探究していく能力を養います。
学習の方法	・幅広い内容を深く学習していきますので、授業に集中することが大切です。 ・家庭学習では復習に重点を置き、教科書や資料集等を熟読するとともに、問題集を繰り返し解くことで、学んだ内容を定着させるように心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第5章 動物の反応と行動	・神経系における情報伝達のしくみや、受け取った情報をもとにどのような行動が現れるのかを学習します。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、定期考査	○	○	○	◎
	第6章 植物の環境応答	・植物が環境からどのように刺激を受け取り、それに対してどのような反応が現れるのかを学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査	○	○	—	◎
1 学期 末	第7章 生物群集と生態系	・地球上にはさまざまな環境があり、その中で多様な生物が共存している様子について学習します。 ・生態系の中で、異種の生物どうしが互いにかかわりあいながら生活している様子について学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	○
2 学期 中間	第7章 生物群集と生態系	・近年重要性が叫ばれている生物多様性とその保全について考えます。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	○
	第8章 生命の起源と進化	・地球上に生命が誕生して以来、生物がどのような道筋をたどって現在の生物の世界ができてきたのかを学習します。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 末	第9章 生物の系統	・多様な生物にもさまざまな共通点や連続性が見られます。この多様な生物をどのように分類できるのかについて学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査、ポートフォリオ評価	○	○	—	◎
	総合演習	・1学期に学習した内容について復習し、問題演習を行います。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査	○	◎	—	○
3 学期	総合演習	・2学期に学習した内容について復習し、問題演習を行います。 ・大学入試に向けた実践的な問題演習を行います。 ・課題プリント、発表、行動の観察	○	◎	—	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	25
② 思考・判断・表現	発表、定期考査、ポートフォリオ評価	25
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート	10
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	3	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>
学習の方法	<p>・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。</p> <p>・体育理論では、豊かなスポーツライフの設計の仕方について学びます。</p>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動の観察 	○	○	◎
	選択 1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技 	◎	○	○
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・発表、小テスト 	◎	○	○
2 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察 	○	○	◎
	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・宇和島東高校で受け継がれている動きを表現します。テーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現することで、イメージを具現化した作品にします。 ・行動の観察、発表 	◎	○	○
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技 	◎	○	○
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習を主体的に取り組むようにします。 ・行動の観察、小テスト 	○	◎	○
3 学期	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技 	◎	○	○

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識及び技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、各先生の評価プリント、発表、小テスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、各先生の評価プリント	30

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	4	教科書	Revised ELEMENT English Communication III (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)、ターゲット1900 (旺文社)				

学習の目標	1 2年次に身に付けた技能を発展させ、様々な話題について自分の意見や感想を英語で表現する力を身に付けます。 2 様々な話題の英文を読み、文の構造を把握するとともに、内容を的確に理解する能力を養います。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の文章を読んでおくことが前提になります。教科書本文を段落構成に注意しながら読み、各段落の要点をつかんだ上で授業に臨みましょう。自分の力でやる習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べ、力をつけていきましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Lies, Dammed Lies, and Statistics	・データの見え方の違いから統計がどのように嘘をつくかについて学びます。 ・なぜ誤解を生むような統計データが使用されるのか、またそれをどのように見抜くかについて考えます。 ・パフォーマンス評価、定期考査	○	○	◎	○
	Lesson 2 Language Extinction	・世界の言語を守るためにどのような取り組みが行われているかを学びます。 ・日本で英語を話す人々が増えれば、日本語も消滅すると思うか考えます。 ・エッセイ、定期考査	○	○	◎	○
1 学期 末	Lesson 3 Environment or Orangutans?	・ヤシ油の人気のオランウータンに与えている影響を学びます。 ・環境と経済のためにヤシの木を植えるべきだという意見に対する自分たちの考えを話し合います。 ・パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	○	○
	Lesson 4 The Truth about Grit	・ニュートンが万有引力の概念を思いついた逸話の真実を学びます。 ・気骨を鍛える方法について考えます。 ・エッセイ、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 中間	Lesson 5 A Class from Stanford University	・筆者が授業で出した課題から得られる教訓について学びます。 ・自分がこの授業を受ける生徒だったら何をするかについて話し合います。 ・パフォーマンス評価、小テスト	○	○	◎	○
	Lesson 6 The Mpemba Effect	・「ムベンバ効果」をめぐる議論について理解します。 ・子どものころに答えが見つからなかった問いについて話し合います。 ・エッセイ、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 7 Invisible Gorilla	・ゴリラ実験によって分かった人間の知覚をめぐる幻想について学びます。 ・目立つものを見逃した経験について考えて、話し合います。 ・パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	○	○
	Lesson 8 A Small Crime	・壁に落書きをした少年に父親が語ったことについて考えます。 ・落書きは芸術か犯罪かについて自分の意見をまとめ、市長に電子メールを書きます。 ・エッセイ、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	Lesson 9 Praying Hands	・デューラーの「祈りの手」秘話から、人間愛や家族について考えます。 ・登場人物の気持ちを想像して手紙を書きます。 ・エッセイ	○	○	◎	○
	Lesson 10 All the Good Things	・筆者の人生を支えた学校時代の思い出を読みます。 ・教師のひとりに感謝の手紙を書きます。 ・エッセイ	○	◎	○	○
	Pleasure Reading To You Who Will Live in the 21st Century	・司馬遼太郎が21世紀を生きる若者に語り継ぐ思いを読み、「いたわり」「他人の痛みを感じること」「優しさ」などについて考えます。 ・パフォーマンス評価	○	◎	○	○

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	行動の観察、発表、パフォーマンス評価	30
② 外国語表現の能力	エッセイ、パフォーマンス評価、小テスト、定期考査	30
③ 外国語理解の能力	エッセイ、小テスト、定期考査	20
④ 言語や文化についての知識・理解	パフォーマンス評価、定期考査	20

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	2	教科書	Revised Vision Quest English ExpressionⅡ Ace (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 基本的な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを的確に表現できる英語力を身に付けます。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。
学習の方法	・授業は、予習を前提に実施されます。教科書本文を段落構成に注意しながら読み、各段落の要点をつかんだ上で授業に臨みましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、辞書や文法書を活用して解決する姿勢を身に付けましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Part3 Lesson1 Presentation	・プレゼンテーションを実施するに際して必要なことを学びます。 ・実際にプレゼンテーションに行い、質疑応答や評価にも挑戦してもらいます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	Part3 Lesson2 Discussion	・ディスカッションを実施するに際して必要なことを学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
1 学期 末	Part3 Lesson3 Debate	・ディベートを実施するに際して必要なことを学びます。 ・様々な論題について肯定側、否定側の立場に立って考えを深めます。	○	◎	—	○
2 学期 中間	Part2 Lesson1文章を組み立てる① 文と文をつなぐ	・文と文のつながりを分かりやすくするための方法について学びます。	○	◎	—	○
	Part2 Lesson2文章を組み立てる② パラグラフ①-構成/列挙・順序	・パラグラフの構成、列挙や時間的順序を表す表現を学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 末	Part2 Lesson3文章を組み立てる③ パラグラフ②-例示・追加	・例示や追加を表す表現を学びます。	○	◎	—	○
	Part2 Lesson4文章を組み立てる④ パラグラフ③-比較・対照	・比較、対照についての表現を学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 末	Part2 Lesson5文章を組み立てる⑤ パラグラフ④-原因・理由・結果	・原因、理由、結果についての表現を学びます。	○	◎	—	○
	Part2 Lesson6文章を組み立てる⑥ 要点・要約①-リーディングの要約	・文章の要点、要約を書く手順について学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 末	Part2 Lesson7文章を組み立てる⑦ 要点・要約②-リスニングの要約	・音声による英文を聞きながらメモを取るコツを学びます。 ・リスニングの要点、要約を書く手順について学びます。 ・発表、エッセイ、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	3 学期	3年生のまとめ	・既習の文法を復習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業態度、言語活動、出席状況、小テスト、パフォーマンステスト	30
② 外国語表現の能力	授業における発表、エッセイ、定期考査、課題プリント、パフォーマンステスト	40
③ 外国語理解の能力		—
④ 言語や文化についての知識・理解	言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和5年度 シラバス

教科	SS	科目	RS探究Ⅱ	学年 学科 類型	3年 理数科
単位数	1	教科書			
副教材等					

学習の目標	科学技術の発展を担う人材には、学問分野に対する高い専門性と新しいことに意欲的に取り組む姿勢、そして情報を発信するプレゼンテーション能力等が求められます。高等学校で学んだ英語・数学・理科、更にRS探究Ⅰで学んだことを発展させ、アクティブ・ラーニングの授業形態や高大接続を意識した学習内容により、国際的に活躍できる科学技術系人材に求められる、科学的探究能力や国際性の基礎を身に付けることを目標とします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・RSⅠ・RSⅡで行った課題研究について、各種科学論文コンテストへ出品します。 ・外国人研究員による出張講義や論文輪読を行います。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 研究成果のまとめ	・RSⅠおよびRSⅡで行った課題研究について、必要に応じて追加実験を行いながら、論文としての体裁を整えます。	○	◎	○	○
	2 各種科学論文コンテスト出品	・各種コンテストの応募要項に応じて論文やプレゼンテーションを整えて出品します。	○	○	◎	○
2 学期 中間	3 外国人研究員による出張講義	・大学の外国人研究員を講師として招き、自然科学・科学技術に関する専門性の高い研究について、講義を受けます。その講義はオールイングリッシュで行います。	◎	○	○	○
2 学期 末	4 学問探究 (1) 専門書輪読	・各生徒の進路希望に応じて、専門書を読みます。	○	○	○	◎
	(2) 口頭試問	・専門書輪読に基づき、パフォーマンステストとして口頭試問を行います。	○	◎	-	○

(備考) 定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察	20
② 思考・判断・表現	ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察	40
③ 技能	ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察	10
④ 知識・理解	ポートフォリオ評価、レポート、発表、行動の観察	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。